

社会福祉協議会だより 夢ふうせん

第113号

2016年2月

社会福祉法人
下市町社会福祉協議会
下市町ボランティアセンター
下市町大字善城 140 番地 1
☎ 52-6125

今回の情報紙は共同募金の配分金で発行しています

募金総額 731,000円

職域募金 114,376円

- ・町議会議員
- ・民生児童委員
- ・役場役職員
- ・教育委員
- ・行政相談員
- ・あきつボランティアグループ
- ・デサントアパレル(株)
- ・(株)エコーブ近畿下市店
- ・(株)オオカワ
- ・人権擁護委員
- ・金融機関職員
- ・社協役職員
- ・大紀(株)
- ・(株)巴商事

戸別募金 494,250円

学校募金 18,225円

- ・下市小学校
- ・下市中学校

イベント募金 94,451円

- ・夢まつり

窓口募金 9,698円

- ・秋津荘
- ・奈良県農協下市支店
- ・南都銀行
- ・下市郵便局
- ・秋野郵便局
- ・(株)エコーブ近畿下市店
- ・美芳野庵
- ・役場窓口
- ・社協窓口



10月1日から実施されました赤い羽根共同募金は、みなさまの温かいご理解とご協力により多大な成果を収めることができました。ありがとうございます。

募金総額のうち、約74%が地域福祉配分金として翌年度、町社会福祉協議会に配分され、残りは県下全域の福祉のために使われています。

一人ひとりの思いやりが集まると、支える力は大きくなります。「赤い羽根共同募金」は、みんながしあわせになるお手伝いをしています。

『歳末すけあい 募金運動』

「ご協力ありがとうございました。」「ございました。」

募金総額は

537,600円

町民の皆様から寄せられました募金は『歳末見舞金』として下市町善意銀行からの見舞金と併せて、ひとりの暮らし高齢者(満80歳以上)164名の方々にお配りさせて頂きました。また、この募金は子育てサロンや高齢者いきいきサロン活動にも支援しています。



まちがいさがし



間違い箇所は★7つ★あります。皆さん、全部見つけてみてくださいね。答えは次のページにあります。

サンタがやってきた！



12月11日『ふれあい子育てサロン』にサンタさんが来てくれました。

今回のサロンは吉野町のおはなしランドカンブリアの皆さんによる楽しい「クリスマス会」が開催され、絵本の読み聞かせや人形劇。「五匹のこぶたとチャールストン」の指人形を使った愉快的ダンスは子ども達も大喜びでした。その後、サンタさん登場！子ども達は、サンタさんからプレゼントもらって元気に「ありがとう」のごあいさつが出来ました。



12月17日・1月21日

タラン先生とローザ先生の
「英語であそぼう」開催！



1月21日動物の好物をあてるゲームをし、その後、絵本を読んでもらいました。

次回は、2月18日開催。
気楽に遊びに来てくださいね。



12月18日は、クリスマス会。

クリスマスにちなんだ英単語や数の絵本の読み聞かせ。スノーマンの福笑い遊びやクリスマスツリーの飾りを作りました。その後、サンタさん登場！プレゼントをもらいみんなは大喜びでした。

- ①バケツの取っ手の向き②希望くんの形をしたおもちのくち③愛ちゃんがついているおもちの形
- ④左後ろのお兄さんの持っている杵の向き⑤車椅子を押しているお姉さんのめがね
- ⑥犬のよだれの数⑦右後ろでおもちをこねているおじさんのひげ

子どもお楽しみ会開催!

12月9日の子どもお楽しみ会では、プラ板作りをしました。子どもたちは、思い思いの絵を描き、オーブントースターで焼き上げ、お母さんやお友達へのプレゼントが完成しました。

その後、楽しみのおやつタイム。素敵な作品ができた満足気な帰っていきま



子ども達は思い思いの絵を描きました。

※プラ板工作とは?
透明なプラスチックの板に油性ペンで絵を描いてからオーブンで加熱するとちぎんで固まります。すると、簡単にオリジナルグッズができます。

Let's try開催

12月4日(金)



大人かわいい作品がずらり...

子育て交流事業開催のお知らせ

【親子であそぼう】

英語であそぼう 2月18日 10:00~
3月17日 10:00~
伝承遊び 2月9日 10:00~

【子育てサロン】3月4日(金)
10:00~

親子でリズム遊び
メロディ・アリサさんにきていただきます。
対象：未就園児と保護者

次回の開催は3月の予定です。

今回は「大人の可愛いプラ板を作りましょう!」でした。子どもの頃に作った懐かしいプラ板を、大人仕様のアクセサリーやストラップに。作り方は好きな形にプラ板を切り、色や柄を描いてトースターで焼くだけの簡単な方法で、懐かしさもあって皆さん次々に作品を作られていました。たくさん素敵な作品が出来ました。

子育てサークル

「でんでん虫」



子育てサークル「でんでん虫」は下市町を中心に乳幼児(生後3ヶ月~3歳)の子育てをしているお母さん達の憩いの場です。定期的に集まって季節の行事、お菓子作り等さまざまな活動を自主的に行なっています。

日頃から抱えている悩み「こんなしんどい思いしてるのは私だけ?」って思われている

お母さん、一緒に語り合って、解決したり、笑いあって、吹き飛ばしたりしませんか?

みなさんのご参加心よりお待ちしております。
代表 伊浅恵美 (☎080-1477-0609)

今さら、サークルなんて、輪ができてしまって入りにくいと思われるお母さん!

「でんでん虫」のメンバーはみんな明るくて気さくな方ばかりなので、いつでも、どなたでも大歓迎です。



介護支援専門員
認知症地域支援推進員
橋本 真紀子

この度、下市町より「認知症地域支援推進員」に任命いただきました。

認知症は特別な病気ではなく、私たち自身や家族等身近な人にも起こりうる病気です。しかし、認知症になったとき、どうしたらいいかわからず、「ご本人やご家族だけで悩みを抱え込んでいる事が多いように感じます。」認知症地域支援推進員は、そんな悩みを聞き、医療機関や介護サービス等の支援機関につなぐコーディネーターとしての役割もあると思います。今後この役割を行っていくにあたって、認知症の人やその家族だけでなく、地域の皆さんにも、より近い存在として気軽に相談いただき、もっと身近な病気として認知症を理解していただけるように頑張っていきたいと思っています。

認知症になっても・・・

住み慣れたわが家、わがまちで、暮らしていくために

兆候を見逃さず、

受診や相談は早めに

認知症の人の周囲にいる人は、本人の変化を「何かおかしい」「以前と違う」と思いつつ、何も対処しないまま時間が過ぎてしまうケースがよくあります。しかし、対処が遅れると、適切な治療やケア（支援、かわり）を受けることも遅くなり、本人の症状が進行してしまふことにもなりかねません。また、認知症とひと口に言っても、原因になる病気はいろいろあり、うつ病など認知症とよく似た症状の病気もあるため、正しい診断を受けることが大切です。

本人に気になる変化が見られたら、「早めにかかりつけ医や地域の相談機関に連絡を取りましよう。」

こんな「変化」にも要注意！

- ・同じことを何度も言ったり聞いたりする
- ・もの名前やよく知っている人の名前が出てこない。
- ・置き忘れやしまい忘れが目立つようになった。



- ・時間や日付、場所の感覚が不確かになった。
 - ・薬の管理ができなくなった。
 - ・それまでできていた仕事や作業ができなくなった。
 - ・水道やガス栓の閉め忘れが多くなった。
 - ・お金の勘定や簡単な計算の間違いが多くなった。
 - ・ささいなことでも怒りっぽくなった。
- 認知症が疑われたり、認知症と診断されたときには、まずは「かかりつけ医」「包括支援センター」「社会福祉協議会」等に相談しましょう。

一人ひとりが認知症を正しく理解しましょう！

認知症を理解して、ご自身ができる範囲で「普段からのさり気ない見守り」を心掛けましょう。一人ひとりが余裕を持って対応することで、認知症の方は住み慣れた地域で、安心した生活を送ることができます。

急増している認知症について正しく理解し、偏見を持たずに認知症の方やその家族を温かく見守り、支援するために地域ぐるみの取組みが大切です。

認知症地域支援推進員が地域のみなさんにもより身近な存在として相談をいただけるよう10名程度のちょっとした集まり（町内会や職場、サークル）に出向き一緒にお話しさせていただきます。

問い合わせ先

下市町社会福祉協議会

☎54-2107・52-6125

担当 橋本